

# KOKUYO

平成26年12月期  
第3四半期  
〈1～9月〉

## 連結決算補足資料

平成26年10月27日

**コクヨ株式会社**

(コード番号 7984)

**財務経理部**

お問い合わせ先 : 財務経理部長 小嶋 浩毅

TEL : 06-6976-1221(大代表)

URL : <http://www.kokuyo.co.jp/>

# も く じ

1. 損益計算書の状況	
1-1 連結情報	…… P. 1
1-2 売上高	…… P. 2
1-3 売上総利益	…… P. 3
1-4 販売費及び一般管理費	…… P. 4
1-5 営業利益及び経常利益	…… P. 5
1-6 四半期純利益	…… P. 6
2. 貸借対照表の状況	…… P. 7
3. キャッシュフロー・設備投資の状況	…… P. 8
4. 事業セグメントの損益状況	
4-1 ステーションナリー関連事業	…… P. 9
4-2 ファニチャー関連事業	…… P.10
4-3 通販・小売関連事業	…… P.11
5. 26年12月期の見通し	…… P.12
6. 主なトピックス	…… P.13

(注)この資料に記述されている予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

# 1. 損益計算書の状況

## ◆1-1 連結情報

売上高は、国内におけるオフィス家具販売が堅調に推移したことや海外事業が伸長したことにより、前年同期比1.7%増の2,205億円となりました。

利益面では、販促活動の強化等により販売費及び一般管理費が増加しましたが、増収による売上総利益の増加や売上総利益率の改善により、営業利益は前年同期比9.4%増の68億円、経常利益は前年同期比6.9%増の80億円となりました。また、四半期純利益は、特別損益（特別利益1億円、特別損失6億円）の計上等により、前年同期比4.4%減の42億円となりました。

(単位:百万円)

	25年12月期 第3四半期	26年12月期 第3四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	216,904	220,546	+3,642	+1.7%
売上総利益 (率)	71,766 (33.1%)	73,883 (33.5%)	+2,117 (+0.4p)	+2.9%
販売費及び一般管理費 (率)	65,523 (30.2%)	67,051 (30.4%)	+1,528 (+0.2p)	+2.3%
営業利益 (率)	6,242 (2.9%)	6,832 (3.1%)	+590 (+0.2p)	+9.4%
経常利益 (率)	7,528 (3.5%)	8,051 (3.7%)	+523 (+0.2p)	+6.9%
四半期純利益 (率)	4,425 (2.0%)	4,230 (1.9%)	△195 (△0.1p)	△4.4%

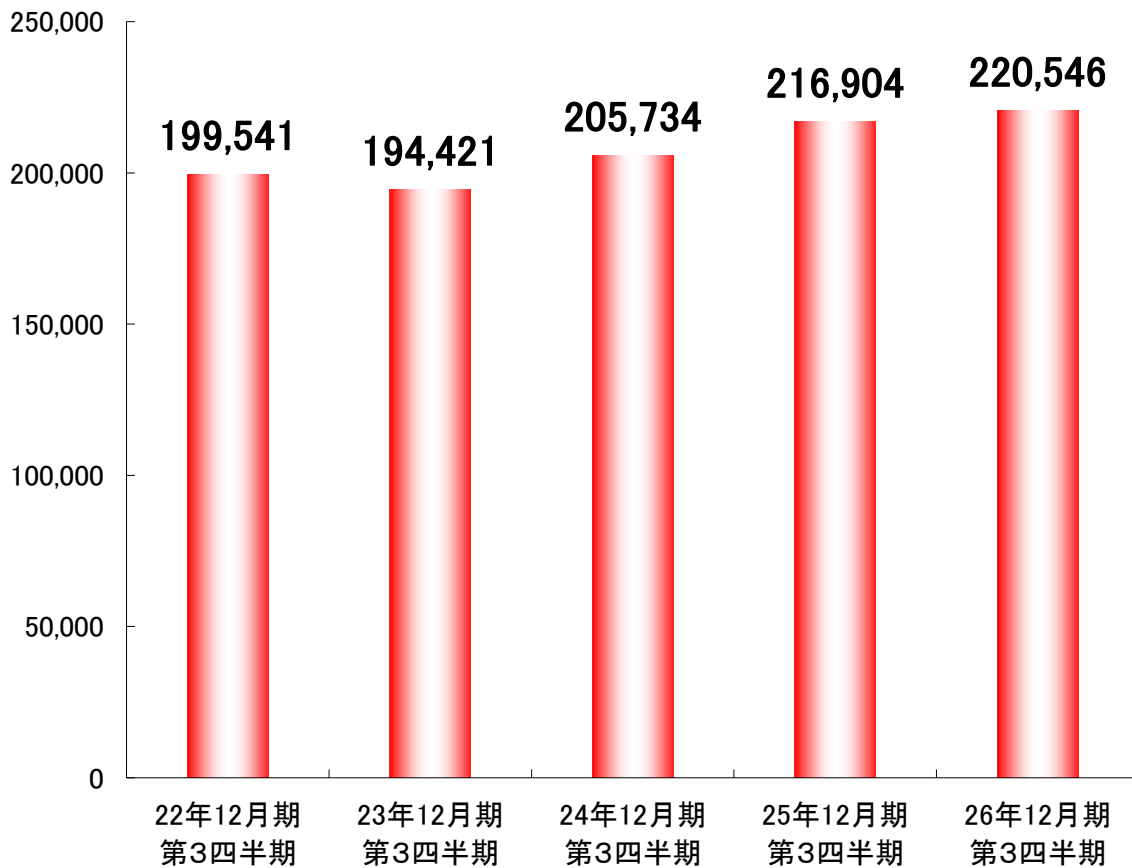
(注)連結子会社23社・持分法適用関連会社1社

# 1. 損益計算書の状況

## ◆1-2 売上高

売上高は、国内におけるオフィス家具販売が堅調に推移したことや海外事業が伸長したことにより、前年同期比1.7%増の2,205億円となりました。

(単位:百万円)



(単位:百万円)

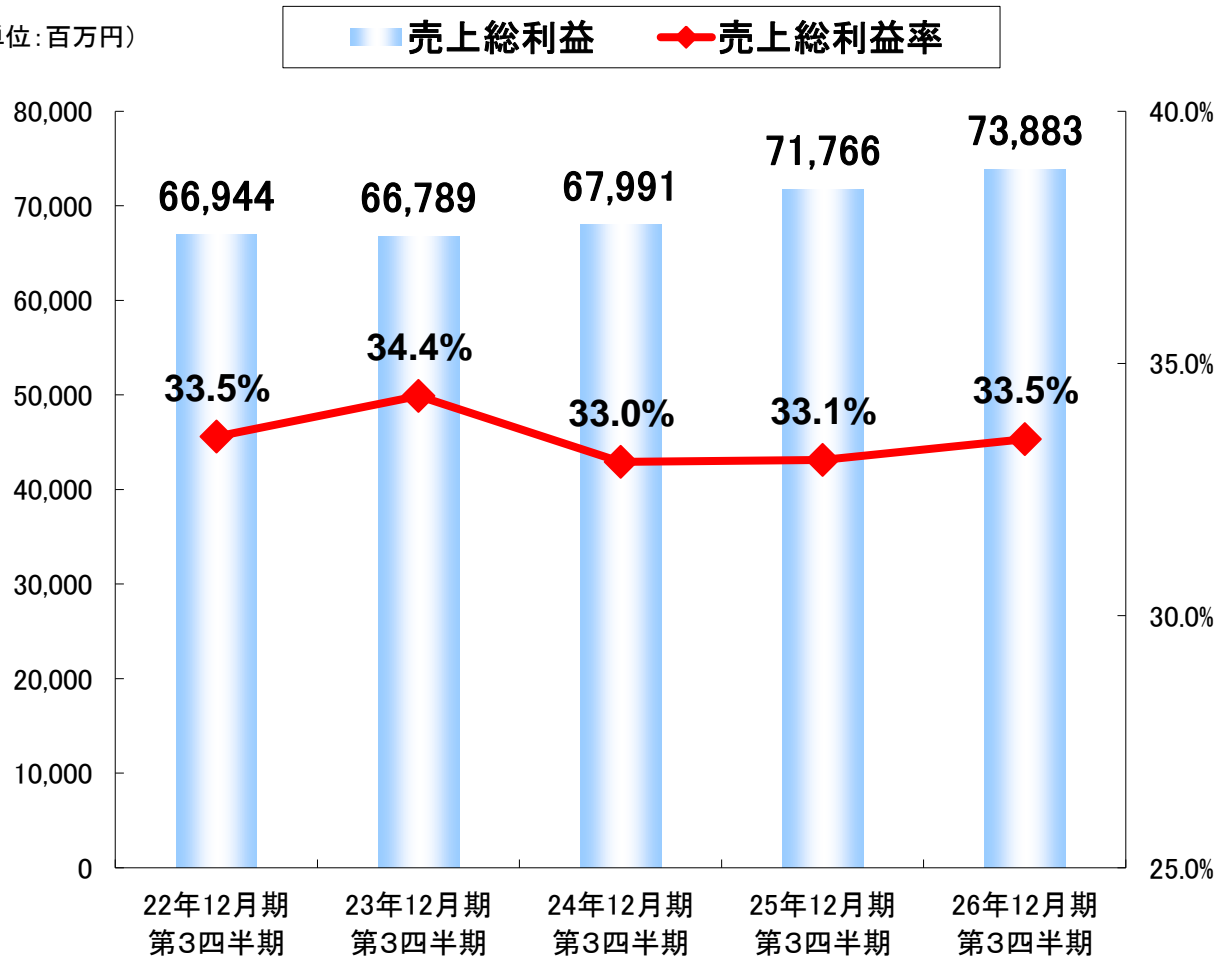
	22年12月期 第3四半期	23年12月期 第3四半期	24年12月期 第3四半期	25年12月期 第3四半期	26年12月期 第3四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	199,541	194,421	205,734	216,904	220,546	+3,642	+1.7%
売上総利益 (率)	66,944 (33.5%)	66,789 (34.4%)	67,991 (33.0%)	71,766 (33.1%)	73,883 (33.5%)	+2,117 (+0.4p)	+2.9%
販売費及び一般管理費 (率)	62,834 (31.5%)	62,733 (32.3%)	62,684 (30.5%)	65,523 (30.2%)	67,051 (30.4%)	+1,528 (+0.2p)	+2.3%
営業利益 (率)	4,109 (2.1%)	4,055 (2.1%)	5,306 (2.6%)	6,242 (2.9%)	6,832 (3.1%)	+590 (+0.2p)	+9.4%
経常利益 (率)	4,137 (2.1%)	4,087 (2.1%)	5,741 (2.8%)	7,528 (3.5%)	8,051 (3.7%)	+523 (+0.2p)	+6.9%
四半期純利益 (率)	1,030 (0.5%)	354 (0.2%)	2,559 (1.2%)	4,425 (2.0%)	4,230 (1.9%)	△195 (△0.1p)	△4.4%

# 1. 損益計算書の状況

## ◆1-3 売上総利益

売上総利益は、増収による総利益額の増加及びファニチャー関連事業の総利益率改善により前年同期比2.9%増の738億円となり、売上総利益率は33.5%となりました。

(単位:百万円)



(単位:百万円)

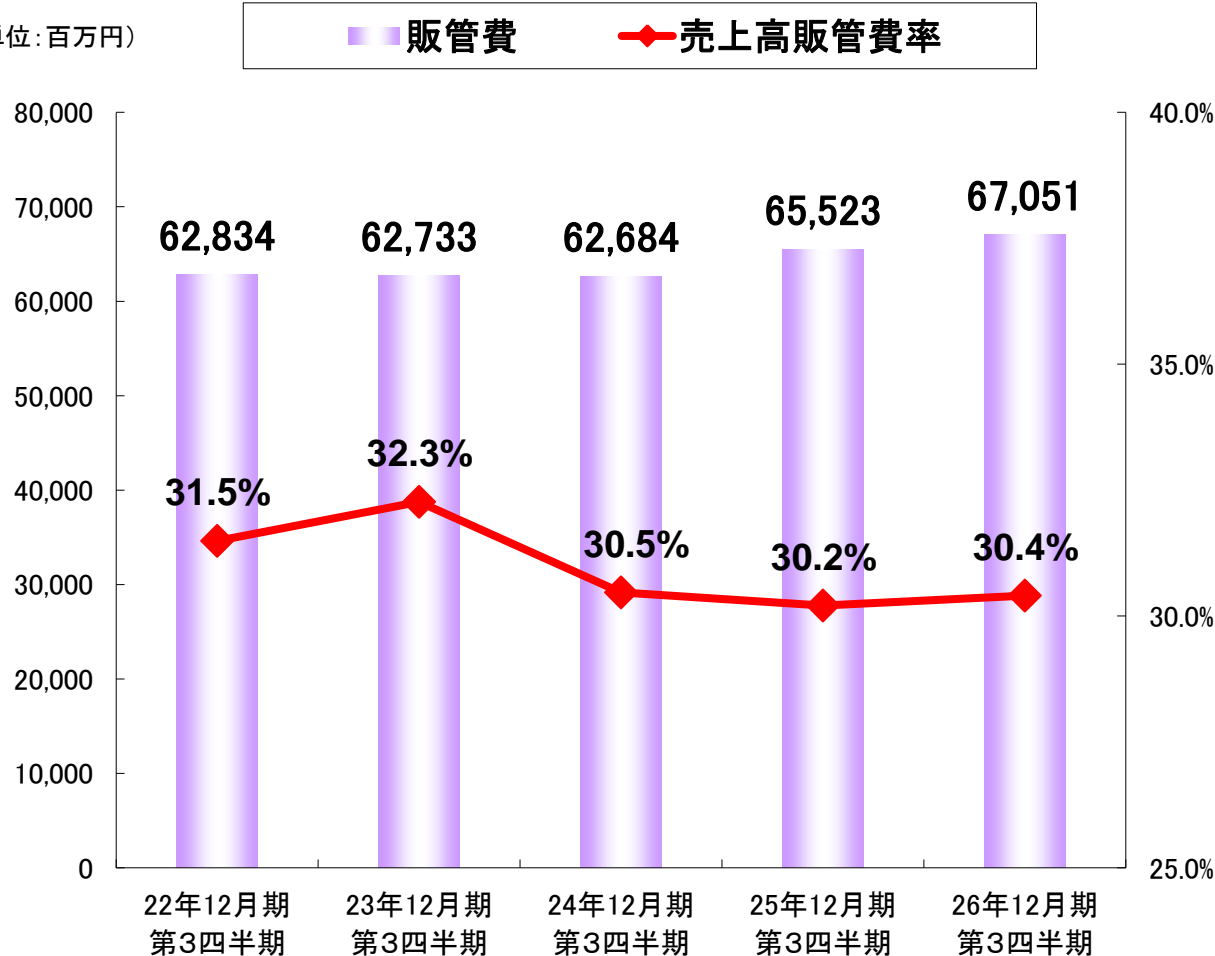
	22年12月期 第3四半期	23年12月期 第3四半期	24年12月期 第3四半期	25年12月期 第3四半期	26年12月期 第3四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	199,541	194,421	205,734	216,904	220,546	+3,642	+1.7%
売上総利益 (率)	66,944 (33.5%)	66,789 (34.4%)	67,991 (33.0%)	71,766 (33.1%)	73,883 (33.5%)	+2,117 (+0.4p)	+2.9%
販売費及び一般管理費 (率)	62,834 (31.5%)	62,733 (32.3%)	62,684 (30.5%)	65,523 (30.2%)	67,051 (30.4%)	+1,528 (+0.2p)	+2.3%
営業利益 (率)	4,109 (2.1%)	4,055 (2.1%)	5,306 (2.6%)	6,242 (2.9%)	6,832 (3.1%)	+590 (+0.2p)	+9.4%
経常利益 (率)	4,137 (2.1%)	4,087 (2.1%)	5,741 (2.8%)	7,528 (3.5%)	8,051 (3.7%)	+523 (+0.2p)	+6.9%
四半期純利益 (率)	1,030 (0.5%)	354 (0.2%)	2,559 (1.2%)	4,425 (2.0%)	4,230 (1.9%)	△195 (△0.1p)	△4.4%

# 1. 損益計算書の状況

## ◆1-4 販売費及び一般管理費

販売費及び一般管理費は、前年同期比2.3%増の670億円となり、売上高販管費率は30.4%となりました。

(単位:百万円)



(単位:百万円)

	22年12月期 第3四半期	23年12月期 第3四半期	24年12月期 第3四半期	25年12月期 第3四半期	26年12月期 第3四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	199,541	194,421	205,734	216,904	220,546	+3,642	+1.7%
売上総利益 (率)	66,944 (33.5%)	66,789 (34.4%)	67,991 (33.0%)	71,766 (33.1%)	73,883 (33.5%)	+2,117 (+0.4p)	+2.9%
販売費及び一般管理費 (率)	62,834 (31.5%)	62,733 (32.3%)	62,684 (30.5%)	65,523 (30.2%)	67,051 (30.4%)	+1,528 (+0.2p)	+2.3%
営業利益 (率)	4,109 (2.1%)	4,055 (2.1%)	5,306 (2.6%)	6,242 (2.9%)	6,832 (3.1%)	+590 (+0.2p)	+9.4%
経常利益 (率)	4,137 (2.1%)	4,087 (2.1%)	5,741 (2.8%)	7,528 (3.5%)	8,051 (3.7%)	+523 (+0.2p)	+6.9%
四半期純利益 (率)	1,030 (0.5%)	354 (0.2%)	2,559 (1.2%)	4,425 (2.0%)	4,230 (1.9%)	△195 (△0.1p)	△4.4%

# 1. 損益計算書の状況

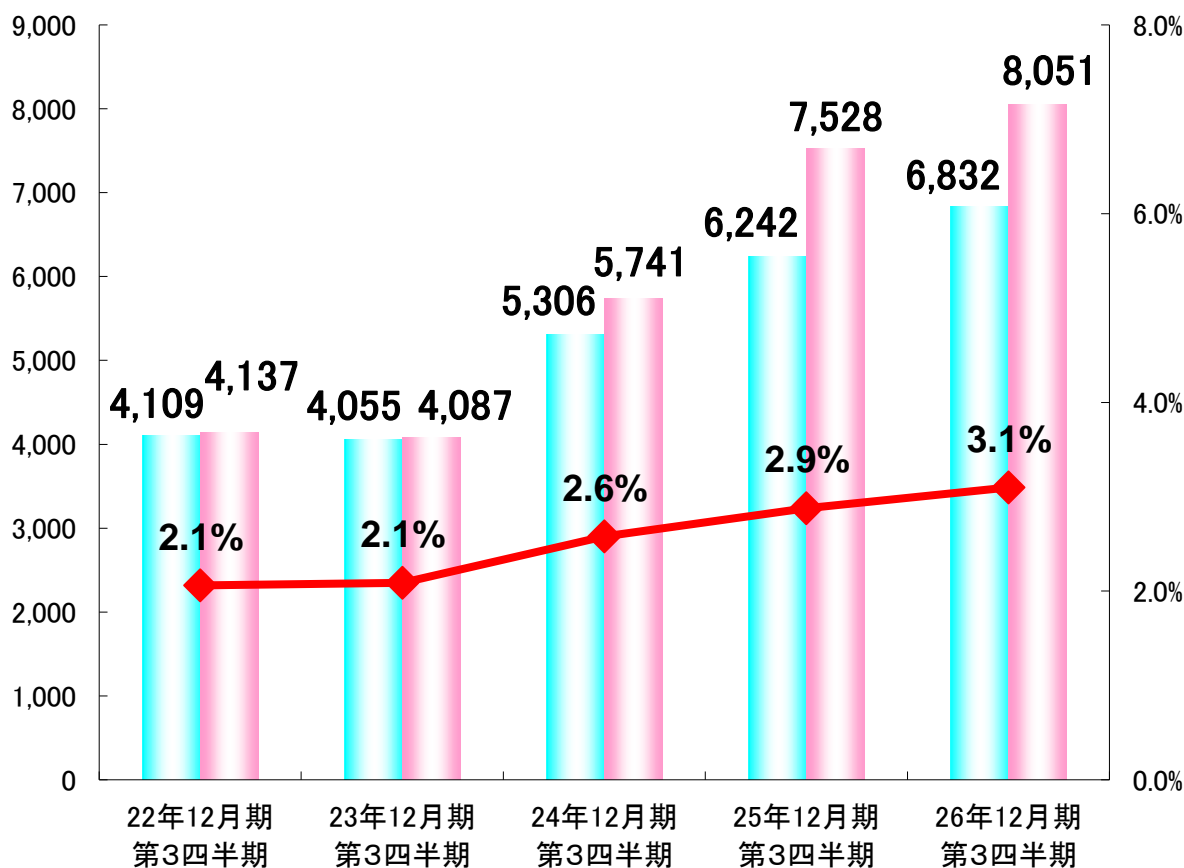
## ◆1-5 営業利益及び経常利益

営業利益は、販促活動の強化等により販売費及び一般管理費が増加しましたが、増収による売上総利益の増加や売上総利益率の改善により、前年同期比9.4%増の68億円となりました。

経常利益は、前年同期比6.9%増の80億円となりました。

(単位:百万円)

■ 営業利益 ■ 経常利益 ◆ 売上高営業利益率



(単位:百万円)

	22年12月期 第3四半期	23年12月期 第3四半期	24年12月期 第3四半期	25年12月期 第3四半期	26年12月期 第3四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	199,541	194,421	205,734	216,904	220,546	+3,642	+1.7%
売上総利益 (率)	66,944 (33.5%)	66,789 (34.4%)	67,991 (33.0%)	71,766 (33.1%)	73,883 (33.5%)	+2,117 (+0.4p)	+2.9%
販売費及び一般管理費 (率)	62,834 (31.5%)	62,733 (32.3%)	62,684 (30.5%)	65,523 (30.2%)	67,051 (30.4%)	+1,528 (+0.2p)	+2.3%
営業利益 (率)	4,109 (2.1%)	4,055 (2.1%)	5,306 (2.6%)	6,242 (2.9%)	6,832 (3.1%)	+590 (+0.2p)	+9.4%
経常利益 (率)	4,137 (2.1%)	4,087 (2.1%)	5,741 (2.8%)	7,528 (3.5%)	8,051 (3.7%)	+523 (+0.2p)	+6.9%
四半期純利益 (率)	1,030 (0.5%)	354 (0.2%)	2,559 (1.2%)	4,425 (2.0%)	4,230 (1.9%)	△195 (△0.1p)	△4.4%

# 1. 損益計算書の状況

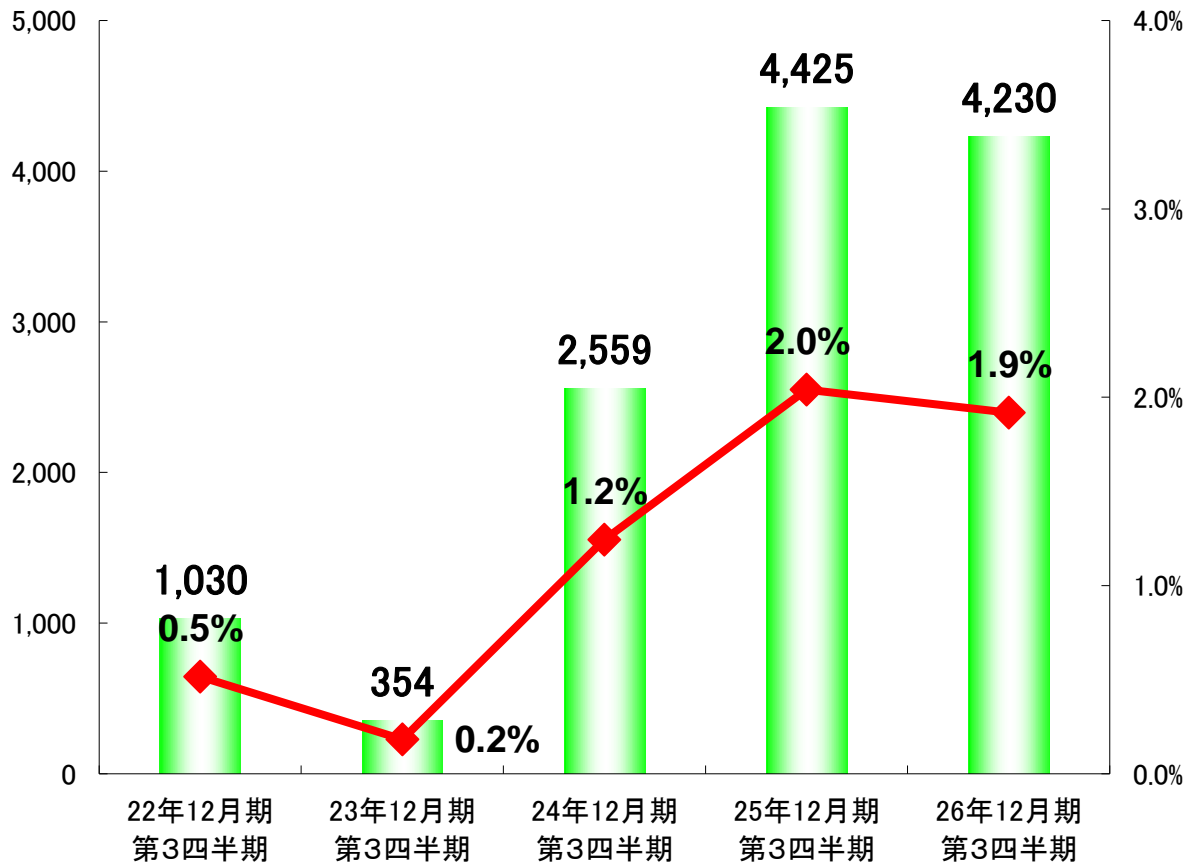
## ◆1-6 四半期純利益

四半期純利益は、特別損益(特別利益1億円、特別損失6億円)の計上等により、前年同期比4.4%減の42億円となりました。

- 特別利益 178百万円・・・投資有価証券売却益 121百万円、固定資産売却益 56百万円
- 特別損失 625百万円・・・事業譲渡損 331百万円、貸倒引当金繰入額 197百万円、厚生年金基金解散損失引当金繰入額 96百万円

(単位:百万円)

■ 四半期純利益    ◆ 売上高四半期純利益率



(単位:百万円)

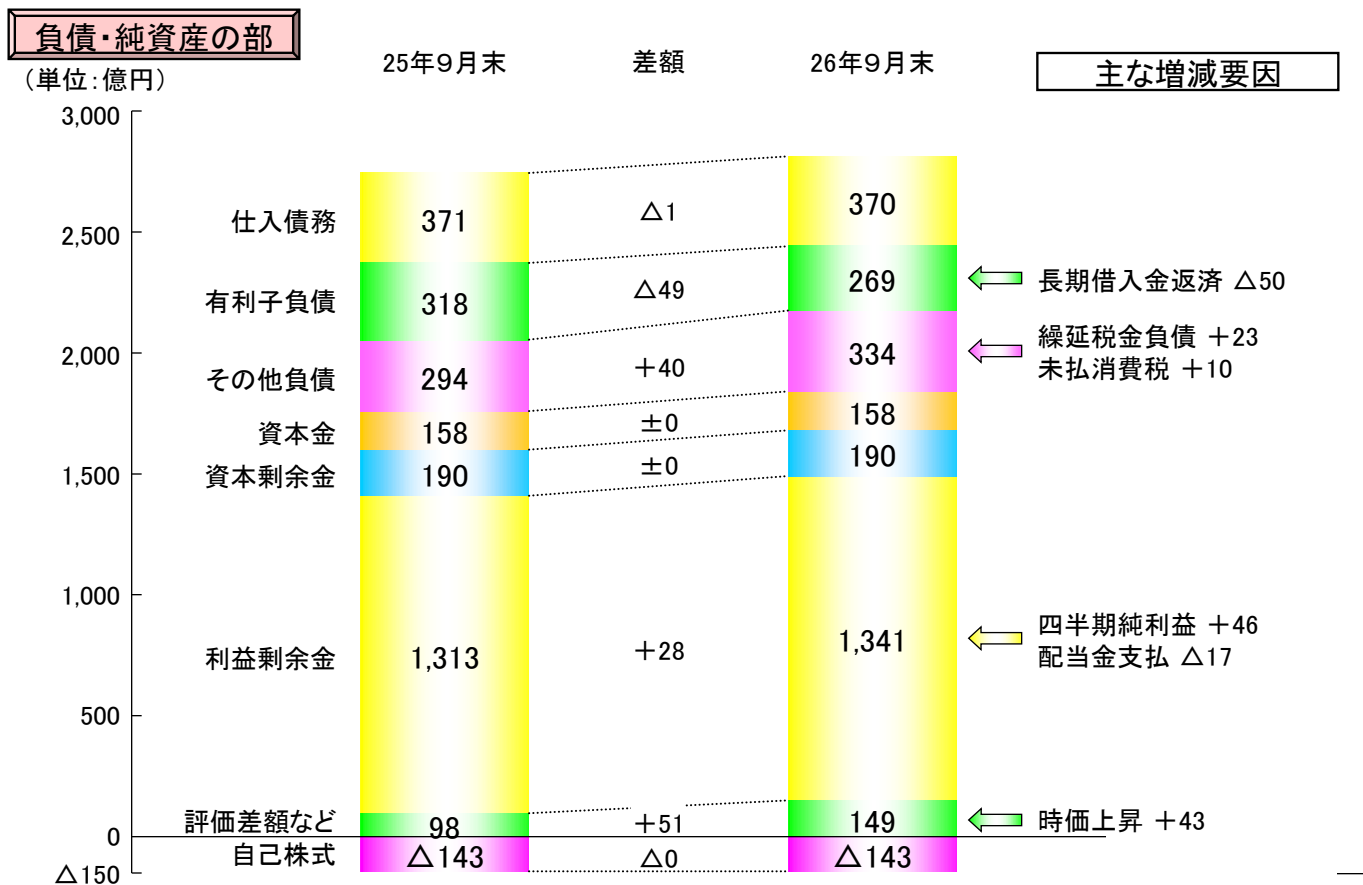
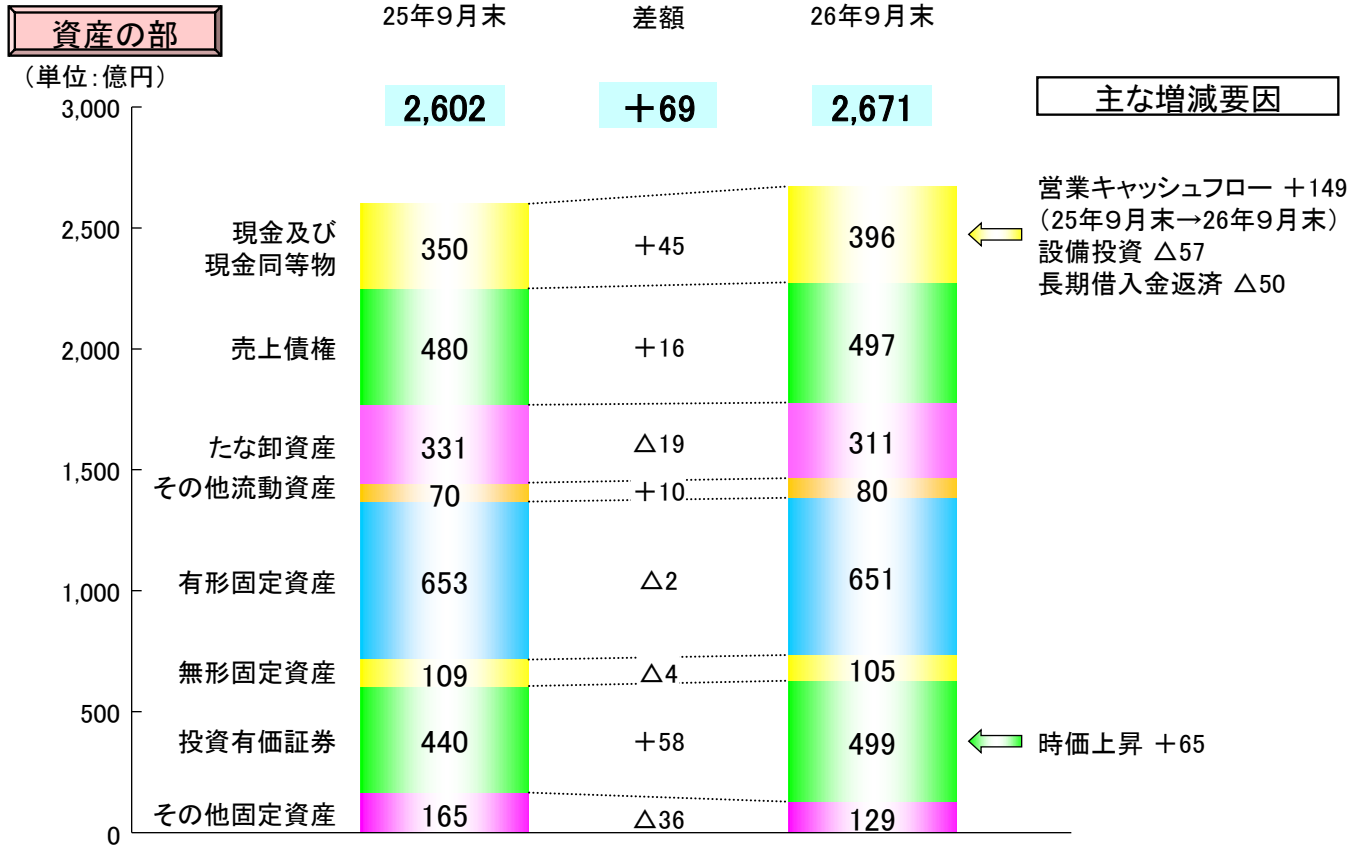
	22年12月期 第3四半期	23年12月期 第3四半期	24年12月期 第3四半期	25年12月期 第3四半期	26年12月期 第3四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
経常利益 (率)	4,137 (2.1%)	4,087 (2.1%)	5,741 (2.8%)	7,528 (3.5%)	8,051 (3.7%)	+523 (+0.2p)	+6.9%
特別損益	△689	△1,818	+114	+67	△447	△514	—
特別利益	+791	+976	+2,021	+1,245	+178	△1,067	△85.7%
特別損失	△1,480	△2,794	△1,907	△1,178	△625	+553	—
税金等調整前四半期純利益 (率)	3,448 (1.7%)	2,270 (1.2%)	5,854 (2.8%)	7,595 (3.5%)	7,603 (3.4%)	+8 (△0.1p)	+0.1%
法人税等	2,418	1,916	3,295	3,170	3,373	+203	+6.4%
四半期純利益 (率)	1,030 (0.5%)	354 (0.2%)	2,559 (1.2%)	4,425 (2.0%)	4,230 (1.9%)	△195 (△0.1p)	△4.4%



## 2. 貸借対照表の状況

営業キャッシュフローの増加や投資有価証券の時価上昇等により、総資産は2,671億円となりました。

※比較のため前期の数値は25年12月期第3四半期(25年9月末)を使用しており、決算短信記載の数値と異なります。  
 ※億円未満を切り捨てて表記しています。そのため合計が一致しない場合があります。



### 3. キャッシュフロー・設備投資の状況

#### <キャッシュフロー>

営業キャッシュフローは112億円、投資キャッシュフローは△15億円となり、フリーキャッシュフロー(※)は96億円となりました。  
また、財務キャッシュフローは△77億円となりました。

以上の結果、当期末の現金及び現金同等物は、期首から22億円増加し、396億円となりました。

(※)フリーキャッシュフロー=営業キャッシュフロー+投資キャッシュフロー

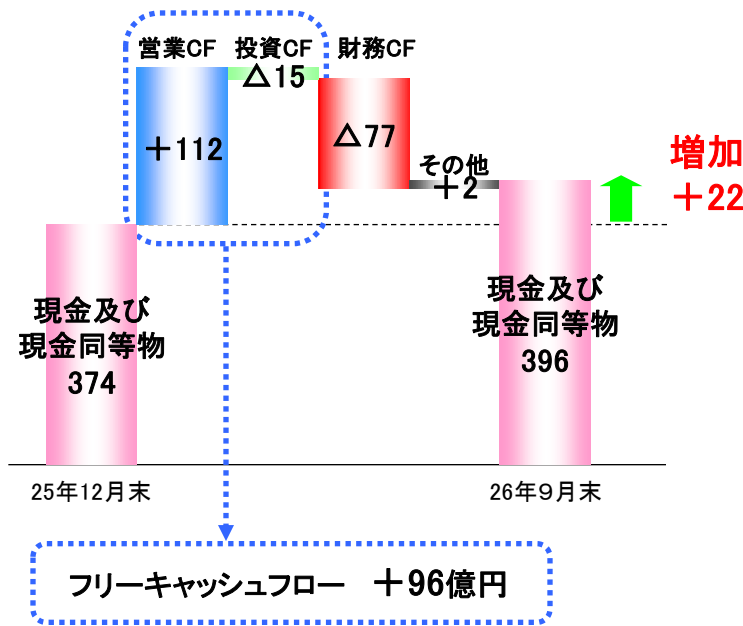
#### <設備投資>

設備投資は、42億円を実施しました。

※億円未満を切り捨てて表記しています。そのため合計が一致しない場合があります。

#### □ 現金及び現金同等物の増減内訳 26年12月期 第3四半期

(単位:億円)



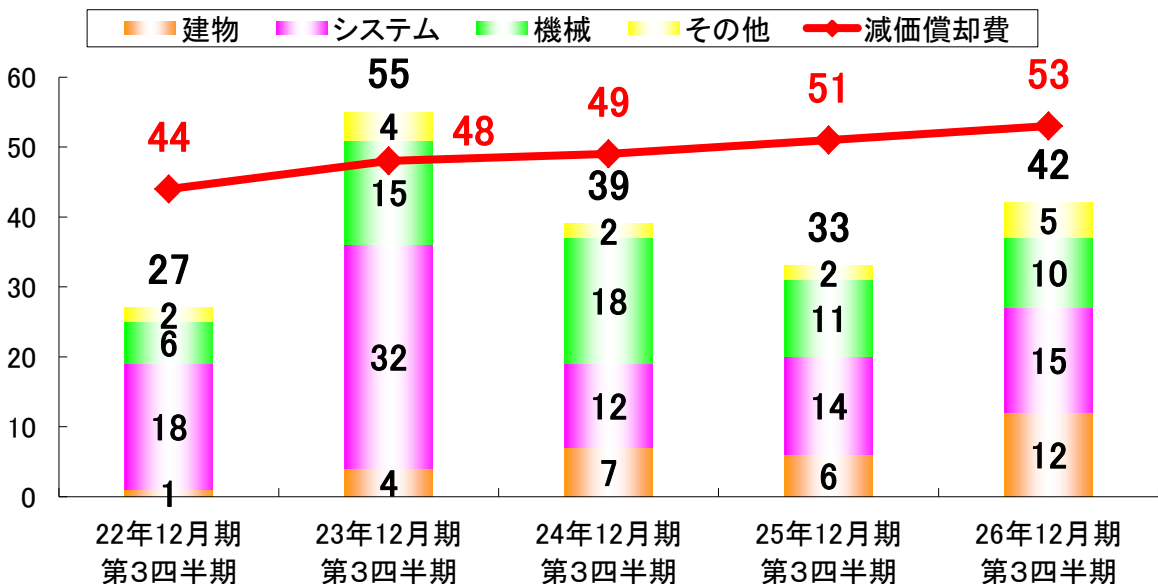
#### □ キャッシュフロー計算書 26年12月期 第3四半期

(単位:億円)

◆営業キャッシュフロー	+112
税金等調整前四半期純利益	+76
減価償却費	+53
賞与引当金の増減	+16
たな卸資産の増減	+4
債権債務の増減	△23
法人税等の支払	△39
その他	+24
◆投資キャッシュフロー	△15
長期性預金の払戻等	+26
設備投資	△42
◆財務キャッシュフロー	△77
長期借入金の増減	△50
配当金の支払	△17
その他	△8

#### □ 設備投資・減価償却費の推移

(単位:億円)



## 4. 事業セグメントの損益状況

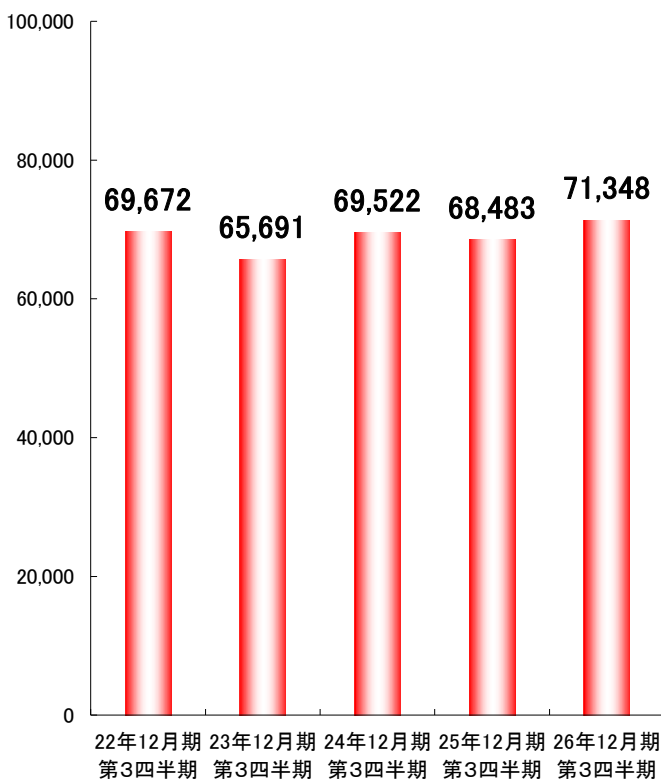
### ◆4-1 ステーションナリー関連事業

売上高は、国内、海外事業とも伸長し、前年同期比4.2%増の713億円となりました。

営業利益は、国内事業における販売チャネル構成の変化、コピー用紙等の低利益率商品の売上構成比率の上昇、原材料価格の高騰等による売上総利益の減少、加えて、売上拡大に向けた商品開発や流通施策における費用の増加により、前年同期比23.7%減の38億円となりました。

### 売上高

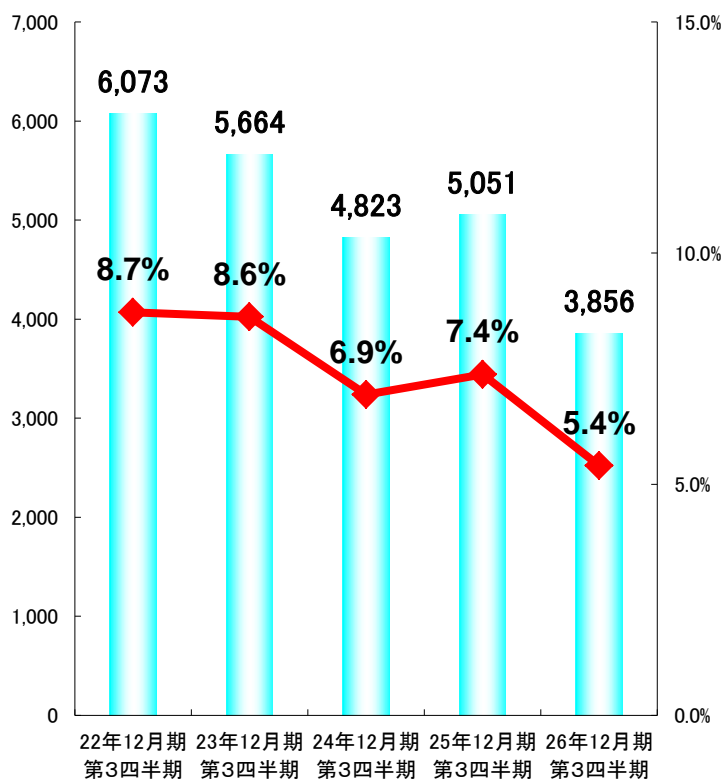
(単位:百万円)



### 営業利益

(単位:百万円)

◆ 売上高営業利益率



(単位:百万円)

	22年12月期 第3四半期	23年12月期 第3四半期	24年12月期 第3四半期	25年12月期 第3四半期	26年12月期 第3四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	69,672	65,691	69,522	68,483	71,348	+2,865	+4.2%
営業利益 (率)	6,073 (8.7%)	5,664 (8.6%)	4,823 (6.9%)	5,051 (7.4%)	3,856 (5.4%)	△1,195 (△2.0p)	△23.7%

※24年12月期より「ステーションナリー関連事業」「ファニチャー関連事業」「通販・小売関連事業」の3セグメントにて開示しております。そのため、23年12月期以前の実績値は新セグメントに置き換えております。

※売上高は、外部売上高と内部売上高を合算した数値を記載しております。

## 4. 事業セグメントの損益状況

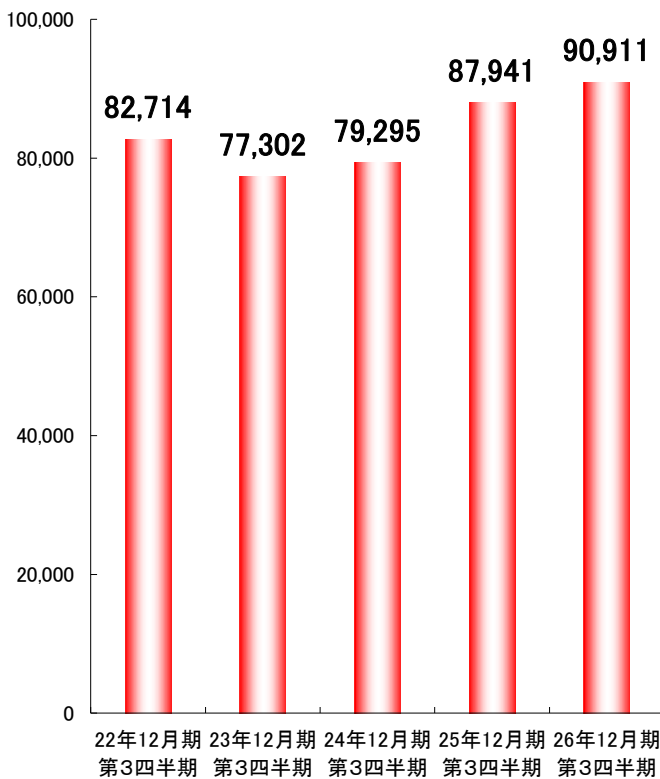
### ◆4-2 ファニチャー関連事業

売上高は、国内事業では卸チャンネルが堅調に推移したこと、海外事業では中国においてオフィス家具販売が伸長したことにより、前年同期比3.4%増の909億円となりました。

営業利益は、増収による売上総利益の増加及び直販チャンネルの売上総利益率の改善により、前年同期比54.5%増の36億円となりました。

### 売上高

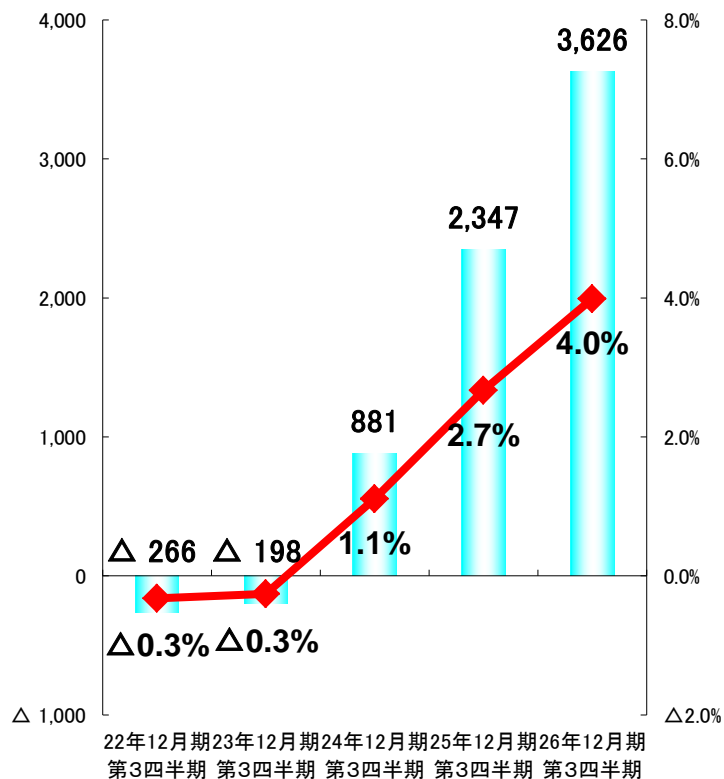
(単位:百万円)



### 営業利益

(単位:百万円)

◆売上高営業利益率



(単位:百万円)

	22年12月期 第3四半期	23年12月期 第3四半期	24年12月期 第3四半期	25年12月期 第3四半期	26年12月期 第3四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	82,714	77,302	79,295	87,941	90,911	+2,970	+3.4%
営業利益 (率)	△ 266 (△ 0.3%)	△ 198 (△ 0.3%)	881 (1.1%)	2,347 (2.7%)	3,626 (4.0%)	+1,279 (+1.3p)	+54.5%

※24年12月期より「ステーションary関連事業」「ファニチャー関連事業」「通販・小売関連事業」の3セグメントにて開示しております。そのため、23年12月期以前の実績値は新セグメントに置き換えております。

※売上高は、外部売上高と内部売上高を合算した数値を記載しております。

## 4. 事業セグメントの損益状況

### ◆4-3 通販・小売関連事業

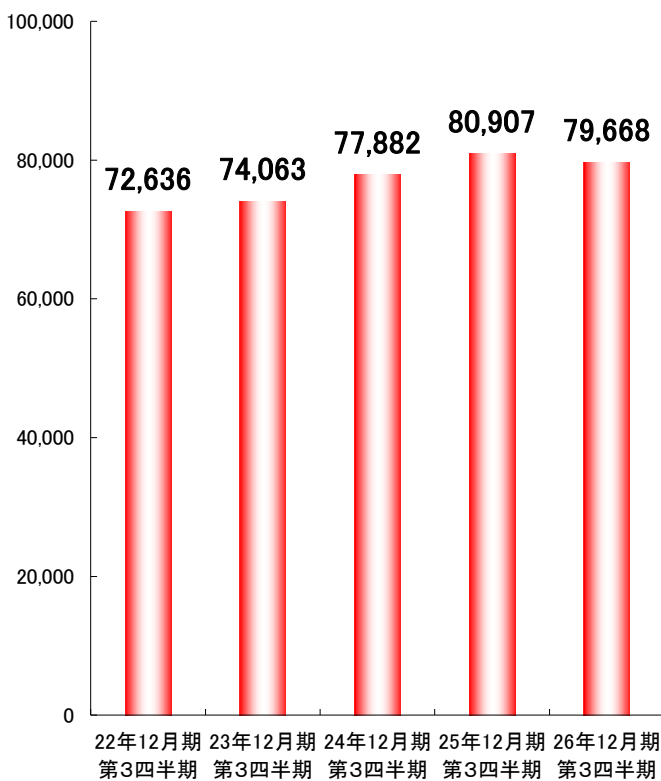
売上高は、カウネット及びアクタスは増収となったものの、フォーレスト株式会社及びLmD株式会社の連結除外(\*)による減収により、前年同期比1.5%減の796億円となりました。

営業利益はカウネットとアクタスの増収による売上総利益の増加に加え、カウネットの売上総利益率の改善により、前年同期比48.0%増の14億円となりました。

(\*)平成25年12月20日に当社の連結子会社であったオフィス用品の通販会社であるフォーレスト株式会社の全保有株式を譲渡いたしました。また、平成26年9月1日に当社の連結子会社であった「ザ・コンランショップ」の運営会社であるLmD株式会社の全保有株式を譲渡いたしました。

### 売上高

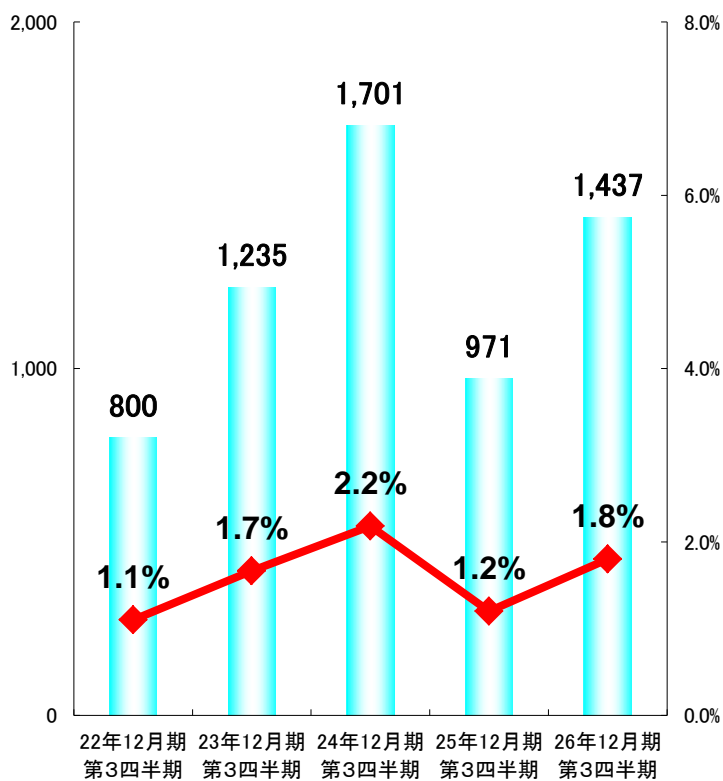
(単位:百万円)



### 営業利益

(単位:百万円)

◆売上高営業利益率



(単位:百万円)

	22年12月期 第3四半期	23年12月期 第3四半期	24年12月期 第3四半期	25年12月期 第3四半期	26年12月期 第3四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	72,636	74,063	77,882	80,907	79,668	△1,239	△1.5%
営業利益 (率)	800 (1.1%)	1,235 (1.7%)	1,701 (2.2%)	971 (1.2%)	1,437 (1.8%)	+466 (+0.6p)	+48.0%

※24年12月期より「ステーションary関連事業」「ファニチャー関連事業」「通販・小売関連事業」の3セグメントにて開示しております。そのため、23年12月期以前の実績値は新セグメントに置き換えております。

※売上高は、外部売上高と内部売上高を合算した数値を記載しております。

## 5. 26年12月期の見通し

平成26年7月25日に公表しました平成26年12月期の業績予想に変更はございません。  
 なお、第3四半期(7~9月)における業績は、前年同期を下回っておりますが、積極的な営業活動の推進等により、引き続き収益の拡大に努めてまいります。

## 通 期

(単位:百万円)

	25年12月期 通期実績 (12ヶ月)	26年12月期 通期予想 (12ヶ月)	前年差額	前年率差	増減率
売 上 高	288,083	294,500	+6,417		+2.2%
ステーションナリー	90,115	93,200	+3,085		+3.4%
ファニチャー	114,625	122,400	+7,775		+6.8%
通 販 ・ 小 売	110,531	107,300	△3,231		△2.9%
調 整 額	△ 27,189	△ 28,400	△1,211		-
営 業 利 益 (率)	6,426 (2.2%)	7,800 (2.6%)	+1,374	+0.4p	+21.4%
ステーションナリー (率)	5,937 (6.6%)	5,300 (5.7%)	△637	△0.9p	△10.7%
ファニチャー (率)	1,592 (1.4%)	3,800 (3.1%)	+2,208	+1.7p	+138.6%
通 販 ・ 小 売 (率)	1,552 (1.4%)	1,900 (1.8%)	+348	+0.4p	+22.4%
調 整 額	△ 2,656	△ 3,200	△544		-
経 常 利 益 (率)	8,276 (2.9%)	8,200 (2.8%)	△76	△0.1p	△0.9%
当 期 純 利 益 (率)	4,804 (1.7%)	4,200 (1.4%)	△604	△0.2p	△12.6%

※フォーレスト株式会社の株式譲渡に伴う平成26年12月期の見通しに与える影響額は、売上高で約100億円、営業利益で約1億円、それぞれ減少します。

※LmD株式会社の株式譲渡に伴う平成26年12月期の見通しに与える影響額は軽微です。

※この資料に記述されている予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

6. 主なトピックス

～紙のノートに書くだけでデータ化できる～  
**デジタルノート「CamiApp S」を発売**

コクヨS&T株式会社は、専用ペンで紙のノートに文字や図表を書き、ノート上の所定の場所にチェックを入れるだけで手書きの内容をデータ化・アップロードできるデジタルノート「CamiApp S (キャミアップ エス)」を発売しました。

当社は、平成23年よりスマートフォンで撮るだけでノートに書かれた内容を簡単にデータ化できる「CamiApp」を販売し、好評をいただいています。

「CamiApp S」は、ノートカバーに内蔵されたセンサーによって、専用ペンの動きを認識し、専用ノートの所定の場所にチェックするだけで手書きデータをスマートフォンやタブレットに取得できます。また、取得されたデータはスマートフォン・タブレット(専用アプリ)経由でクラウドサービスへの自動アップロードができるので、従来のカメラやスキャナでのデータ化よりも、アクションを減らし、効率よくデータ化できます。なお、取り込まれた手書きデータは、文字認識機能により自動でテキスト化され、検索に活用することができます。さらに、「打合せ記録」タイプの罫内容のノートを使えば、手書きで指定した日時でGoogleカレンダー上に貼り付けることが可能となります。

商品は、本体、ノート、専用ペンがセットとなっています。本体のバリエーションは、ノートブックタイプ2種類(Android™版、iOS版)、メモパッドタイプ2種類(Android™版、iOS版)の計4種類、替えノートとしてノートブック3種類(横罫/方眼罫/打合せ記録)、メモパッド3種類(横罫/方眼罫/打合せ記録)をご用意しました。

「CamiApp S」は、お使いのスマートフォン・タブレットに専用アプリ(無料)をインストールすることでご使用いただけます。



「CamiApp S」の使用例

デジタルノート「CamiApp S」の特長

チェックするだけ

日々のノートを自動でバックアップ

自動でアップロード

ノートにワンチェック

簡単データ化

CamiApp S

デジタルノート「CamiApp S」

書いてワンチェック、手間なくデータ化・クラウド連携

テキスト検索可能

新商品

※文字認識機能は約80%程度(個人差があります)

書いた内容は専用アプリの文字認識機能で自動でテキスト化、キーワード検索も可能



## ～戦略商品「ENTRY」、「PRESENCE II」を発表～ 中国において新商品発表会を開催

平成26年9月12日に、国誉家具(中国)有限公司は、上海において、オフィスチェア「ENTRY」とパネルシステム「PRESENCE II」の発表会を開催しました。

「ENTRY」、「PRESENCE II」ともに、成長著しい中国内陸部向けに開発した戦略商品で、低価格でありながら、機能性やデザイン性に富んだ商品となっています。

中国では、主に上海や北京、広州等の沿岸部において、直接販売でオフィス家具の販売やオフィス空間の構築を行ってきましたが、近年は内陸部を中心に代理店網構築を推進しています。新商品投入で、事業拡大ペースを速め、更なる成長を図ります。

また、中国において、オフィス家具事業を展開してきた「国誉家具商貿(上海)有限公司」の社名を事業範囲の拡大や、活動エリアの拡大にあわせ「国誉家具(中国)有限公司」に変更しました。



オフィスチェア「ENTRY」



パネルシステム「PRESENCE II」



新商品発表会の様子



社名変更を発表する小西総経理



6. 主なトピックス

～刃渡りが長く、長い直線が切れる携帯ハサミ～  
スリムな携帯用「ハサミ<ホソミ>」を発売

コクヨS&T株式会社は、携帯しやすいサイズで刃渡りが長く、長い直線を切りやすい「ハサミ<ホソミ>」を発売しました。

当社がハサミを携帯している学生・会社員を対象に、今携帯しているハサミに関する不満点を調査したところ、78%の人が何らかの不満を感じており、上位3つの不満は「収納しにくい」「握りにくい」「長い直線が切りにくい」であることがわかりました。(コクヨS&T調べ n=148 Web調査)

「ハサミ<ホソミ>」は、ハンドルの形状を大幅に見直し、親指を入れるリングを斜めにするとともに前後に配置した独自形状の立体ハンドルとしました。これにより、握りやすさを損なわずに携帯しやすいスリムボディと60mmの長い刃渡りを実現し、ペンケースに入る大きさでハサミとしての実用性を高めました。中指と親指をリングに通し人差し指はハンドルに添えて固定することで、安定して紙を切ることができます。

また、ポップなカラーバリエーションで、女子学生、社会人女性に最適な商品です。



「ハサミ<ホソミ>」の使用例

～“カウネットならではの”付加価値型PB“カウコレ”プレミアム”がさらに充実～  
「カウネット2014年秋冬号カタログ」を発売

株式会社カウネットは、事務用品、OA用品、生活用品など約36,800品番を掲載した新しいカタログ「カウネットカタログ2014年秋冬号(第28号)」を発売しました。

新カタログでは、カウネット独自の視点で開発した付加価値型オリジナル商品“カウコレ”プレミアム”を強化するとともに、低価格ながら安心の品質を提供する“カウコレ”プライス”のほか、有名メーカーの飲料や生活用品などオフィスの必需品をお買い得価格で多数用意しています。

“カウコレ”プレミアムの新商品の一例

マニュアル類用 注あり

**NEW!** 巻の全20色! 増え続けるマニュアルもこれでOK!

リングファイルなら開閉性よく、改定時の差し替えも簡単。マニュアル管理のお悩みにこだわって開発しました。

**Point**

- 20色展開のリングファイル
- 20色展開のリングファイル
- 20色展開のリングファイル

20色展開のリングファイル

¥217 (税込 ¥234)

3層式フリータイプ

**人気No.1** カウコレ プレミアム

会話や呼吸をしてもマスクが口にはりつきにくい口元ゆったりマスク!!

お客様の声

マスクが口にはりつきにくいので、会話や呼吸がしやすいです。

会話しやすい口元ゆったりマスク

センターワイヤー入りでマスクが唇にはりつきにくく、つけたままでも会話や呼吸がしやすいマスク。

¥6.92 (税込 ¥7.5)

「マニュアルリングファイル」種類が多いマニュアル類を色で直感的に分類できるよう、20カラーで展開。

「会話しやすい口元ゆったりマスク」センターワイヤー入りでマスクが唇にはりつきにくく、つけたままでも会話や呼吸がしやすいマスク。